

令和５年度第２回子ども・子育て会議 議事要旨

日 時：令和６年３月２７日（火）１３時３０分～１５時４５分

場 所：村岡区中央公民館 ２階 大会議室

出席者：委員１０名（４名欠席）、教育長、事務局５名

《次第》

開会

教育長あいさつ

議題

- （１）令和４年度実施状況に係る評価について
- （２）第３期香美町子ども・子育て支援事業計画策定の進捗状況について
- （３）子育て支援に関する取組について

意見交換

閉会

《資料》

資料６・・・・・・令和４年度事業実施状況に係る評価書

資料７・・・・・・第３期香美町子ども・子育て支援事業計画策定スケジュール

資料８・・・・・・令和５年度子育て支援に関する取組状況

資料９・・・・・・令和６年度からの子育て支援に関する取組

別冊・・・・・・香美町子育てに関するアンケート報告書

《議題》

(1) 令和4年度実施状況に係る評価について（事務局による説明）

■委員意見

※ 意見なし

□事務局

- ・ 評価方法については、施設利用希望者に対して、何人受入れできる施設が整っているかが基本であるが、事業内容について評価していただいてよい。事務局としては、このような取組があればもっと評価できるということも含めて広くご意見を伺いたい。
- ・ 放課後児童クラブの施設規模について、個別の建物を有するスマイルかすみでは、国の基準を満たしてはいるものの利用者の増加により窮屈な状況があり、今後の課題と考えている。

(2) 第3期香美町子ども・子育て支援事業計画策定の進捗状況について（事務局による説明）

■委員意見

※ 意見なし

(3) 子育て支援に関する取組について（事務局による説明）

■委員意見

- ・ 子育て応援給付金とかみっこおむつ券交付数の件数が異なりイコールになると思われるが、何がどう違うのか。
- ・ 病児保育料が県内で2番目に高いとのことだが、見直しを行った結果、他市町と比較してどうか。
- ・ 土・日曜日にも子どもを預かれる事業をやってもらいたい。特に観光業であれば土・日も仕事の場合が多いと思うが、働く人の立場に立って考えてもらいたい。

□事務局

- ・ 子育て応援給付金とかみっこおむつ券の件数の違いについて、どちらも新生児訪問の際に申請していただいているが、子育て支援給付金は申請に基づき給付を行い、おむつ券は事業を通じて交付するという考えである。お母さんが外出できるようになって乳幼児期の予防接種が始まる生後2カ月ぐらいから、健康課が行っている交流会や教室などへの参加を通じて、専門職の相談を利用してのおむつ券の交付となるため、タイムラグが発生している。
また、仕事などでサロンに来られない方へは、子育てのSOSなど理由があることも考えられ専門職からの声掛けをしており、訪問によって、また、別の場所での面談によってもおむつ券を交付している。

- ・ 病児保育室利用料について、県内市町の状況では、低いところでは1日平日の利用料が1,000円、1,500円というところもあるが、6割以上の市町では2,000円で食事代は別というところが平均的であり、今回の減額により香美町も中間ぐらいの認識でいる。
- ・ 土・日曜日に預かる事業をとのご意見については、現在、保育所では土曜日も預かる体制になっており、日曜日は保育所の利用はできない。今後、子ども子育て支援事業計画を立てていく中で、利用の希望がどれぐらいあるのか、実際に可能なのかという問題は別にあるが、考えていきたい。

○その他子育て支援について

■委員意見

- ・ 香美町において、母親の就労率が9割ぐらいあって全国平均を大きく上回っているが、（自ら事業者の立場から）子育てがしやすい会社づくりとは理想がかけ離れていると感じている。企業からすれば、企業側にメリットがないと子育てしやすい環境づくりを推進しづらいところがあり、町ならではの「子育て就労支援制度」をつくり子育てしやすい会社に認定するリストあれば、子育てしながら働きたいという人が企業を選びやすく、人材不足で困っている中で会社にとってもメリットとなる。

また、税制優遇があれば、子育て支援制度を取り入れたいと思う会社も増えると思う。